

働

人の思いが

重なって

大きな大きな力になる。

『10年後の彼を見つめた就労支援』

～ちょうどいい働き方・暮らし方～

Tekito- 野々村光子

“ 働くということ ”

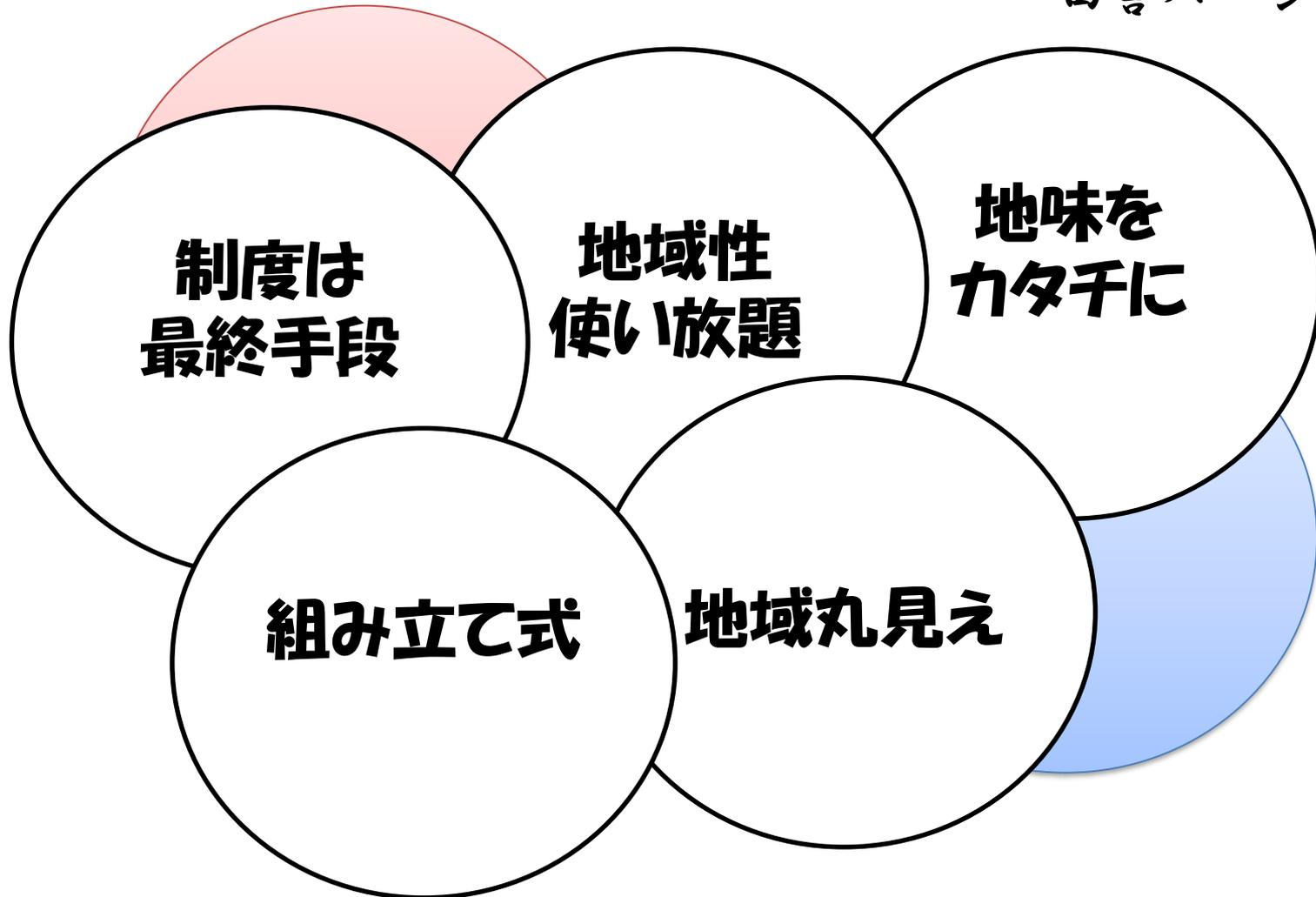
私たちは毎日たくさんの
「働きたい」と出会う。
その「働きたい」思いには
色んな意味がぎっしり。
家族への愛や自分のヘタクソや
自慢したい気持ち。
稼いだお金で居酒屋へ・・・
彼らの「働きたい」と出会う度、
「働くこと」が持つ力の
大きさに驚き、学ぶ。
また「働くこと」は
単なる作業ではなく、
生きる力を育むステージ・・・
そんなステージに立つ姿は
誰もが真剣、誰もがカッコイイ、
誰もがほんまもん。
輝く場所がここにある。

Tekito-

自分のアカンとこは無いと知ってホッとしましたわ。
洗車も自治会も大変ですねん。
長い人生の中で今がぼちぼちですわ。

『生活困窮者自立支援制度の活用方法』

田舎バージョン



『働きもん達』

ナカボツ事業

生活困窮者自立支援制度



障害が
はっきりしとる

障害者雇用枠に
入る

働ける状態に
ある

障害が
はっきりしとる

福祉制度が
使える

働ける状態に
ない

障害が不明

障害がない

ようわからん

『遠慮は要らん。配慮を下さい。』

相談: 働くことを窓口生きていく事について共に考える。

企業にしか出来ない応援: 見る・知る・選択する。

応援方法について: 課題はないという視点。

生活について: 働く事は24hの中にある。

ネットワーク支援: 人生のプロセスがほんまもんの履歴書。

『就職を目標にしない。かっこええ大人を目指す。』
～ 働けるラインではなく、働き方。～

本人の働く条件=応援団の工夫
【一人ひとりの“得意”の発見】

働く力は生きる力や。
【働き続ける力に繋がる】

『TEAM 困救』

時代の流れと共に

地域の「困りごと」は見えづらく、そしていつの間にかそれは「諦めごと」になり始めている。

私たち‘働きもん’は、そんな地域の困りごとを救うチームである。

誰が困っても解決できる地域へ…

そんな事を目指す我らは…Team 困救

『地域を救う担い手はここに居る』

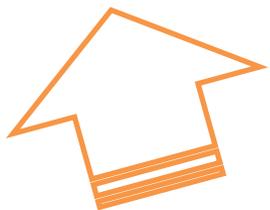
中途半端な輝ける場所

～ カッコつけて生きて行こう～

『地域は生きるアイテムや』

見学・実習企業

いつでもOK



百済寺

企業より
間伐材処理作業

人参引き抜き作業

人参農家からの
オファー

森三商会

社長宅の
豪華庭 除草作業

Green

図書館の
景刈り作業

マーガレット
ステーション

ラベンダー

プレハブ解体

企業からのオファー
作業現場跡の解体

薪遊庭

企業における
薪割り作業

企業と共に
着火材製造中

CHAKKA

おみくじ大作戦

奈良の有名な神社のおみくじを願いを込めて折る

郵便局とのコラボハガキの仕上げ作業・平和堂とのコラボ商品の仕上げ作業

KIKITO

就労準備中の若者達



『 男前で溢れる地域へ 』

【TEAM困救】

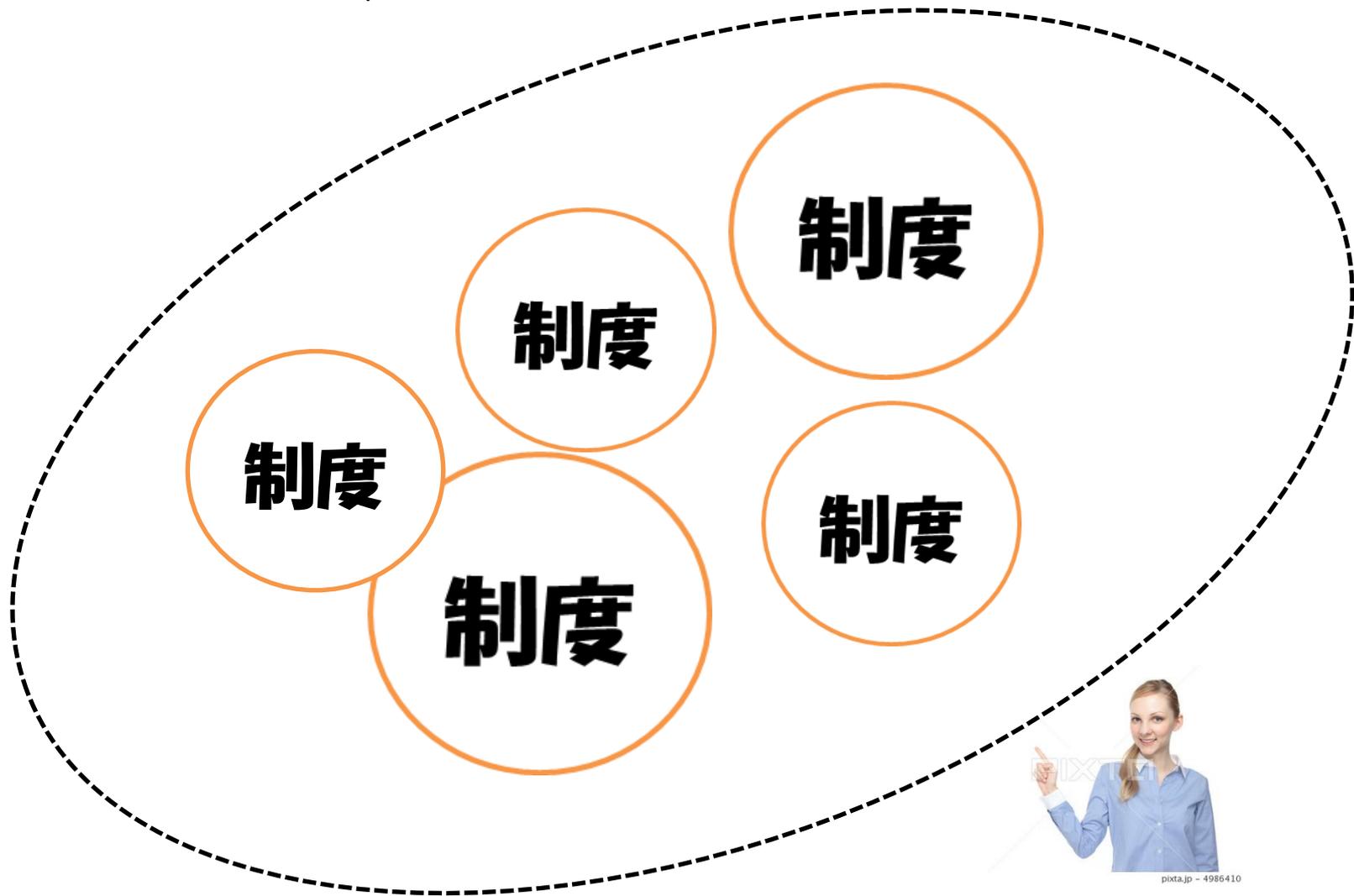
ステージ	参加人数	企業卒業	ものがたり
百済寺	9人	2人	自信なし男子26歳。 年下男子にカッコつける。
葉刈り	16人	4人	60歳で久々に外に出たオッサン。 鎌の使い方を褒められ得意気。
薪割り	8人	4人	自分の力と気持ちの都合を掴み、 アルバイトへ飛び立った42歳。
プレハブ	5人	1人	養護学校卒業を隠して生きてきた男子。 今の自分の一番は作業所やと知る。
CHAKKA	15人	2人	虐められ、独りで生きて行くと決めていた 28歳。人の事を気にし始めた。
下請け	17人	1人	家族0、知り合い0、仕事リストラ。 手先の器用さを言われて気づいた女子。
その他	4人	1人	脳梗塞発症後、家族からは厄介者。 若者に声だけの監督になる。

『働く事に憧れる時間…』

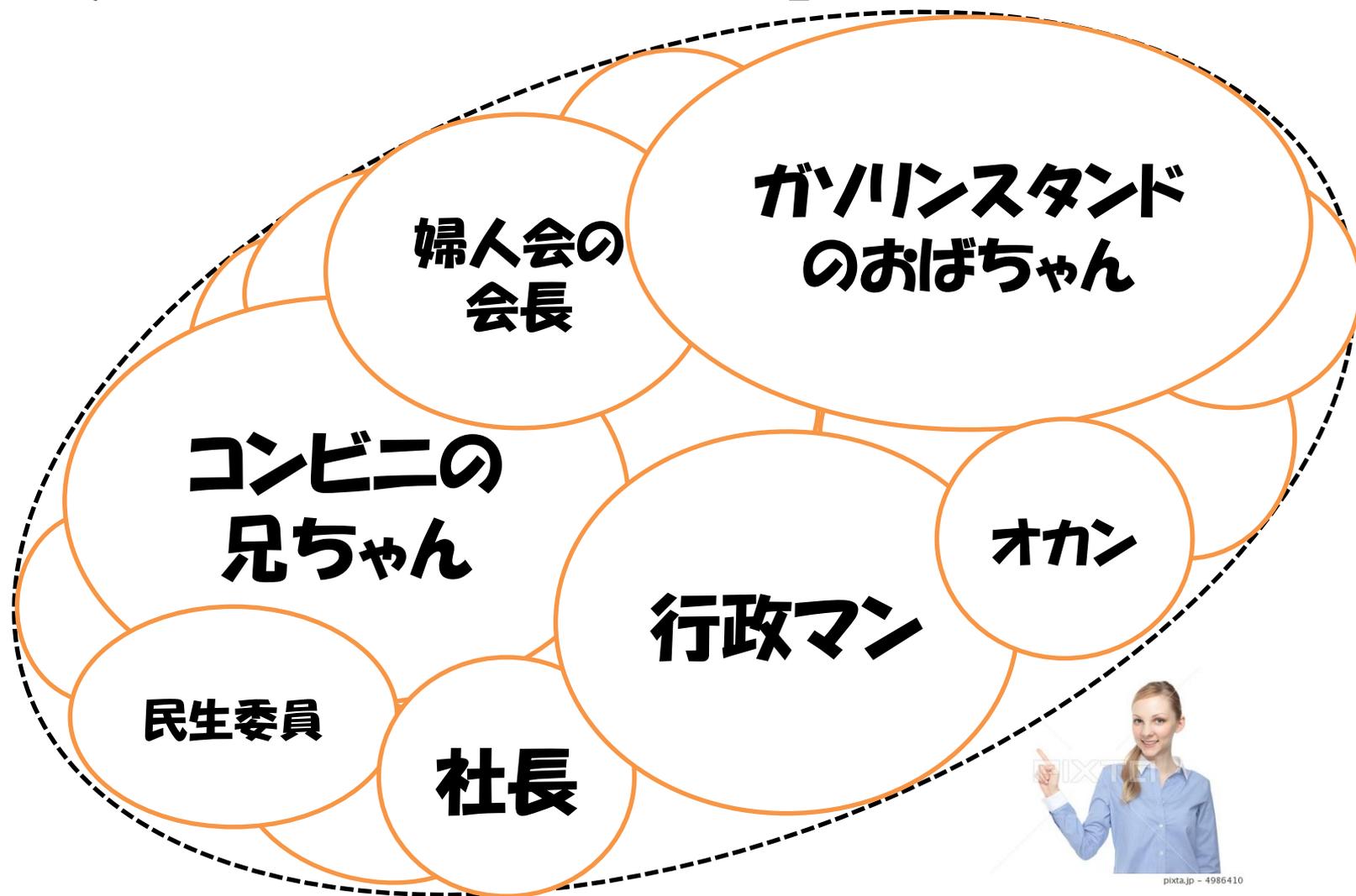


ものがたいから学ぶ
～ 色々な意味で、地域の宝～

『ゴミ屋敷は最先端の暮らし』



『寝ているもんも使う図々しさ』



『引きこまれるという力』

今までも、これからも、
人生にミスは無し。